



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月29日

上場取引所 東

上場会社名 ユニチャーム

コード番号 8113 URL <http://www.unicharm.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 高原 豪久

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理財務本部長 (氏名) 秋田 泰

TEL 03-3451-5111

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	100,765	11.6	13,558	10.2	12,580	22.6	9,196	49.7
23年3月期第1四半期	90,307	7.0	12,306	23.2	10,263	△6.4	6,144	3.6

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 9,841百万円 (58.6%) 23年3月期第1四半期 6,204百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	49.33	47.93
23年3月期第1四半期	97.65	—

(注) 平成23年3月期第1四半期の1株当たり四半期純利益は株式分割を勘案していない数値を記載しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	455,391	226,921	45.8
23年3月期	444,015	219,632	45.5

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 208,358百万円 23年3月期 201,934百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	42.00	—	14.00	56.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	16.00	—	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成23年3月期第2四半期末の配当金額は株式分割を勘案していない金額を記載しており、平成23年3月期の合計の配当金額は1株当たりの単純合計金額を記載しております。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	202,000	10.9	22,200	0.1	20,400	3.2	17,000	△31.0	91.19
通期	421,000	11.7	49,000	5.2	46,400	7.6	35,000	4.3	187.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期1Q	206,944,773 株	23年3月期	206,944,773 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

24年3月期1Q	20,522,079 株	23年3月期	20,521,968 株
----------	--------------	--------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	186,422,777 株	23年3月期1Q	62,928,928 株
----------	---------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料の予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。実際の業績は、競合状況・為替の変動等にかかわるリスクや不確定要因により記載の予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

なお、当社は、平成22年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株の割合で株式分割いたしました。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) その他の注記事項	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）における当社グループをとりまく経営環境は、引き続き海外市場におけるパーソナルケア関連商品の需要が拡大しております。

海外市場では、アジアを中心とした各地域において販売エリアの拡大とプロモーション活動を強化しました。また、国内市場では、高付加価値商品の投入と商品ラインアップの充実により、売上の拡大に取り組みました。

この結果、第1四半期連結累計期間における売上高は100,765百万円（前年同四半期比11.6%増 為替変動要因を除くと実質前年比15.0%増）、営業利益は13,558百万円（前年同四半期比10.2%増 為替変動要因を除くと実質前年同期比13.2%増）、経常利益は12,580百万円（前年同四半期比22.6%増）、四半期純利益は9,196百万円（前年同四半期比49.7%増）となりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりであります。

① パーソナルケア

【ベビーケア関連商品】

国内では、生まれたてやねんねの時期の赤ちゃんのデリケートな肌にあわせた新開発のトップシート「瞬間吸収シート」を搭載し、おしっこをくり返しすぐに「瞬間吸収」することで赤ちゃんのおしりをいつもサラサラに保つことができる機能を高めた、「瞬間吸収」でおしりサラサラ!『ムーニー 生まれたて仕立て（新生児用）・ねんね仕立て（Sサイズ）』を新発売いたしました。

また、赤ちゃんの夏のムレに合わせて通気性を改良し、また夏らしいパッケージに替えた『マミーポコパンツ』を発売いたしました。

一方海外では、中国・インドネシア・インドにおいて参入都市の拡大を継続実施したことと商品のラインアップを拡充させたことにより、売上成長を図りました。

【フェミニンケア関連商品】

国内では、夏限定の夜用ナプキン『ソフィ超熟睡ガード 涼肌』シリーズをラインアップに追加し、肌ケア市場の活性化を進めました。

海外では、中国において地方都市へ販売エリアを拡大し、売上の拡大を進めました。また、アジア参入各国で夜用タイプ、スリムタイプなど高付加価値ナプキンの販売を強化し売上の拡大と収益力を強化しました。

【ヘルスケア関連商品】

介護を受ける人のおしりをドライに保ち、肌カブレしにくい夜用尿とりパッド『ライフリー 一晩中お肌あんしん尿とりパッド』を発売し売上の拡大を図りました。

【クリーン&フレッシュ関連商品】

驚くほどキレイにカンタンに掃除ができる便利でお洒落なお掃除用品、シートクリーナー『ウェーブ』シリーズの販売促進を強化しました。

この結果、パーソナルケアの売上高は87,183百万円、セグメント利益（営業利益）は12,391百万円となりました。

② ペットケア

消費者ニーズを捉えた商品の開発・市場創造に努め、国内のペット飼育の4大潮流「室内飼育化」「小型犬化」「高齢化」「肥満化」に新たに「健康」を加え5大潮流とし、商品ライン拡充と販売促進を行いました。

ペットフード部門では、前期に新しい商品ラインとして発売した、犬用『愛犬元気 ベストライフ』シリーズ、猫用『ねこ元気』と『銀のスプーン』シリーズに「腎臓の健康維持に配慮 15歳が近づくころから」の積極的な販売促進を実施しました。また、前期に商品の発売を開始した中国では、前期に引き続き、犬猫フードの商品の販売網の拡大による市場創造に努めました。

ペットトイレタリー部門では、『デオシート』、『デオシート超吸収・強力消臭パワー』、『デオシート

小型犬用』といった犬の排泄処理用シート、猫用システムトイレ『1週間消臭・抗菌デオトイレ』、新開発の消臭フィルターと消臭・吸収シートの2層構造でモレとニオイを強力にガードする『わんちゃん用デオトイレ』、ペット用紙オムツといった清潔な住環境を整えるペットの排泄ケア関連商品を中心に積極的な販売促進を実施しました。

この結果、ペットケアの売上高は11,508百万円、セグメント利益（営業利益）は1,032百万円となりました。

③その他

不織布・吸収体の技術を活かした業務用商品分野においては、食品包材事業を中心に収益改善を進めました。

この結果、その他の売上高は2,073百万円、セグメント利益（営業利益）は128百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間における総資産は455,391百万円（前連結会計年度比2.6%増）となりました。主な増加は、現金及び預金8,596百万円、有価証券3,599百万円、投資有価証券794百万円であり、主な減少は、受取手形及び売掛金△3,839百万円、のれん△868百万円によるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間における負債は228,469百万円（前連結会計年度比1.8%増）となりました。主な増加は、支払手形及び買掛金1,596百万円、未払法人税等1,224百万円であり、主な減少は、賞与引当金△2,016百万円によるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間における純資産は226,921百万円（前連結会計年度比3.3%増）となりました。主な増加は、当第1四半期純利益9,196百万円であり、主な減少は、為替換算調整勘定△651百万円によるものです。

(自己資本比率)

当第1四半期連結会計期間における自己資本比率は45.8%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績見通しにつきましては、平成23年4月28日発表と変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

記載すべき重要な事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

有形固定資産の減価償却方法の変更

従来、当社及び国内連結子会社は、有形固定資産の減価償却方法について定率法(ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備は除く)については定額法)を採用しておりましたが、当連結会計年度よりすべての有形固定資産について、定額法に変更しております。

この変更は、当連結会計年度より開始した第8次中期経営計画(Blue Sky計画)において、今後更なるグローバルな事業展開が加速し海外における設備投資の増加が見込まれることから、グループの設備投資環境の変化を契機に、グループの会計方針の統一と期間損益の適正化の観点から有形固定資産の減価償却方法について再度検討したことによるものであります。

その結果、当社及び国内連結子会社の有形固定資産は、耐用年数内で安定的に稼働しており、グループの製品群からは安定的な収益の獲得が見込まれることから、より適切な費用配分を行うため有形固定資産の減価償却方法を定額法に変更することが、経営実態をよりの確に反映するものと判断いたしました。

これにより、従来の方法によった場合に比べ、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益が751百万円増加しております。

なお、この変更がセグメントに与える影響は、当該箇所に記載しております。

<追加情報>

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行なわれる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	118,569	127,165
受取手形及び売掛金	46,038	42,198
有価証券	701	4,301
商品及び製品	11,724	11,719
原材料及び貯蔵品	10,309	10,165
仕掛品	359	444
その他	17,050	18,598
貸倒引当金	△33	△32
流動資産合計	204,719	214,562
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	31,161	31,323
機械装置及び運搬具（純額）	48,525	48,791
その他（純額）	18,703	20,047
有形固定資産合計	98,389	100,162
無形固定資産		
のれん	65,022	64,153
その他	2,467	2,504
無形固定資産合計	67,489	66,657
投資その他の資産		
前払年金費用	5,658	5,707
投資有価証券	13,027	13,821
繰延税金資産	53,107	52,736
その他	1,804	1,928
貸倒引当金	△182	△185
投資その他の資産合計	73,416	74,009
固定資産合計	239,295	240,829
資産合計	444,015	455,391

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	37,991	39,588
短期借入金	8,371	7,733
未払法人税等	1,953	3,178
賞与引当金	3,833	1,817
災害損失引当金	639	74
その他	37,353	41,713
流動負債合計	90,143	94,105
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	80,642	80,628
長期借入金	47,354	47,343
退職給付引当金	2,623	2,718
その他	3,619	3,673
固定負債合計	134,240	134,364
負債合計	224,383	228,469
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,992	15,992
資本剰余金	18,802	18,802
利益剰余金	217,111	223,775
自己株式	△43,924	△43,925
株主資本合計	207,981	214,644
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,276	3,763
繰延ヘッジ損益	△13	△11
土地再評価差額金	△89	△166
為替換算調整勘定	△9,220	△9,872
その他の包括利益累計額合計	△6,047	△6,286
新株予約権	288	460
少数株主持分	17,408	18,103
純資産合計	219,632	226,921
負債純資産合計	444,015	455,391

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	90,307	100,765
売上原価	48,317	54,319
売上総利益	41,990	46,445
販売費及び一般管理費	※1 29,683	※1 32,887
営業利益	12,306	13,558
営業外収益		
受取利息	143	198
受取配当金	103	117
その他	181	120
営業外収益合計	429	437
営業外費用		
支払利息	38	96
売上割引	820	1,071
為替差損	1,574	175
その他	39	71
営業外費用合計	2,472	1,415
経常利益	10,263	12,580
特別利益		
固定資産売却益	9	1
貸倒引当金戻入額	26	—
新株予約権戻入益	—	0
特別利益合計	36	1
特別損失		
固定資産処分損	146	111
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	71	—
災害による損失	—	277
その他	40	102
特別損失合計	258	491
税金等調整前四半期純利益	10,040	12,090
法人税、住民税及び事業税	1,545	2,328
法人税等還付税額	—	△148
法人税等調整額	767	7
法人税等合計	2,313	2,187
少数株主損益調整前四半期純利益	7,727	9,902
少数株主利益	1,582	705
四半期純利益	6,144	9,196

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	7,727	9,902
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△245	486
繰延ヘッジ損益	△22	1
為替換算調整勘定	△1,255	△549
その他の包括利益合計	△1,523	△61
四半期包括利益	6,204	9,841
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,088	9,034
少数株主に係る四半期包括利益	1,115	807

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				セグメント間 取引消去 又は全社	四半期連結 損益計算書 計上額
	パーソナルケア	ペットケア	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	76,652	11,995	1,658	90,307	—	90,307
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	5	5	△5	—
計	76,652	11,995	1,664	90,312	△5	90,307
セグメント利益（営業利益）	9,952	2,247	99	12,300	6	12,306

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当社は、当社の連結子会社であるユニ・チャームペットケア株式会社の普通株式を、平成22年5月6日から平成22年6月16日までの期間において、公開買付けを実施いたしました。これによる当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては51,542百万円であり、ペットケアセグメントにおける増加であります。

当第1四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				セグメント間 取引消去 又は全社	四半期連結 損益計算書 計上額
	パーソナルケア	ペットケア	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	87,183	11,508	2,073	100,765	—	100,765
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	2	2	△2	—
計	87,183	11,508	2,076	100,768	△2	100,765
セグメント利益（営業利益）	12,391	1,032	128	13,552	5	13,558

(注) 「2. サマリー情報（その他）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示（会計方針の変更）」に記載したとおり、従来、当社及び国内連結子会社は、有形固定資産の減価償却方法について定率法（ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備は除く）については定額法）を採用していましたが、当連結会計年度よりすべての有形固定資産について、定額法に変更しております。これに伴い、従来の方法によった場合と比べ、営業利益は、パーソナルケアにおいて672百万円、ペットケアにおいて64百万円、その他において14百万円それぞれ増加しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) その他の注記事項

(四半期連結損益計算書関係)

前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
※1 販売費及び一般管理費の主なもの	※1 販売費及び一般管理費の主なもの
販売運賃諸掛 4,730百万円	販売運賃諸掛 5,316百万円
販売促進費 11,695百万円	販売促進費 13,222百万円
広告宣伝費 2,607百万円	広告宣伝費 3,122百万円
従業員給与・賞与 2,588百万円	従業員給与・賞与 2,666百万円
賞与引当金繰入額 830百万円	賞与引当金繰入額 886百万円
退職給付費用 352百万円	退職給付費用 324百万円
減価償却費 425百万円	減価償却費 262百万円